

令和5（2023）年度文化庁委託 現職日本語教師研修プログラム普及事業 日本語教師【中堅】

公益社団法人日本語教育学会  
日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした  
中堅日本語教師のための研修プログラム（略称：JCN 研修）  
中堅研修コース／講師育成コース  
募集要項

※中堅研修コース／講師育成コースの両方について，追加募集をいたします※

※ 締切は6月19日(月)23:59（日本時間）です ※

## 中堅研修コース

### I. 研修について

#### 1. 本研修の趣旨・目的

公益社団法人日本語教育学会は，2023年度文化庁事業「現職日本語教師研修プログラム普及事業」を受託し，中堅日本語教師のための研修（以下，中堅研修コース），および研修担当講師の育成研修（以下，講師育成コース）を実施いたします。

「中堅研修コース」では，文化庁（2019）『[日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版](#)』で示された日本語教育人材の養成・研修における「日本語教師【中堅】に求められる資質・能力」および「研修における教育内容」を踏まえた内容を提供します。その目的は，これまでに自らが行ってきた日本語教育実践を振り返り，俯瞰し，それらを理論的・メタ的に位置づける活動を通じて，これからの日本語教育の如何なる多様化にも対応し，日本語学習環境を整えることができる日本語教師【中堅】を育成することです。

「講師育成コース」では，文化庁（2019）で示された日本語教育人材の養成・研修における「日本語教育コーディネーターに求められる資質・能力」および「研修における教育内容」を踏まえた内容を提供します。その目的は，中堅日本語教師の研修を企画し，講師として研修を運営・実施できる人材を育成することです。

これら2つのコースは，日本語教育学会の様々な人材（Jinzai），知財（Chizai），ネットワーク（Network）を活用してオンラインで実施します。ここでは，「中堅研修コース」の募集要項を説明します（「講師育成コース」については，p.10以降をご覧ください）。

#### 2. 研修実施期間

令和5（2023）年7月15日（土）～令和6（2024）年1月15日（月）

### 3. 実施方法

#### 3. 1. 遠隔による研修の実施

本研修は、全てオンラインで実施します。「同期型研修（Web 会議システムによるスクリーング）」と「非同期型研修（講義動画の視聴、および、LMS（Learning Management System）、チャットツールの利用）」を組み合わせた複合型の学習形態です。Web 会議システムには Zoom を用います。LMS とチャットツールについては、事前準備期間に参加者に詳細をお知らせします。

#### 3. 2. 研修の特徴

##### (1) 研修テーマ

「つなげる・つながることを通じた実践の改善と教師の成長」を研修テーマとし、研修生が各現場から見出した具体的な課題を以下のような視点から整理、検討します。

- (1) 日本の在留外国人施策・制度
- (2) 関係府省庁による日本語教育施策
- (3) 日本語の試験
- (4) 国内外の多様な日本語教育事情
- (5) 学習者の社会参加
- (6) 異文化間トレランス
- (7) 言語学習・教育の情意的側面
- (8) 日本語教育プログラムおよび教育環境デザイン
- (9) 目的・対象別日本語教育法
- (10) 評価法
- (11) 異領域との協働
- (12) 日本語教育プログラムにおける ICT の活用・著作権
- (13) マネージメント能力
- (14) 事務・管理能力
- (15) 人材育成能力
- (16) ネットワーキング力
- (17) その他

##### (2) チームで研修活動を行う

本研修では、他者とのつながりと協働を重視します。そのために、研修生は応募時に提出した自らの課題を一人で考えるとともに、課題に基づいていくつかのチームに分かれ、チームとしても研修活動を行います。一人で考え、解決するのではなく、組織や専門分野をこえた様々なリソ

ースを活用し、つながることの重要性とダイナミズムを経験します。

(3) 各自の課題を自ら設定し、自ら解決する

各自の課題や解決方法を誰かに教えてもらうのではなく、自ら課題を設定し、チームで解決にあたります。そのために、現場を分析して理解を深め、他者とのつながりの中で解決の糸口を自ら発見し課題に取り組みます。その過程を通じて、日本語教師としての成長と専門性のさらなる充実を目指します。

(4) 日本語教育学会のリソースを活用する

研修生は、各チームの課題を解決するために、日本語教育学会の様々な人材（Jinzai）、知財（Chizai）、ネットワーク（Network）を活用して必要な情報を収集、発信、共有します。

(5) 6期に分けて実施

2023年7月から2024年1月までの約7ヶ月の研修期間を、6期に区分して実施します。各期は、「講義」と「演習」から構成され、それぞれにZoomによるスクーリング（同期型研修）が行われます。さらに、研修全体を通してLMSとチャットツールを利用した課題の遂行と意見交換が並行して行われます。その他、1月に修了レポートの提出が求められます。

(6) LMSとチャットツールを利用した非同期型研修

全研修期間を通じ、LMSとチャットツールを利用して、チームでの意見交換、情報収集、成果報告などを行います（非同期型研修）。チームにはそれぞれ研修担当の講師とメンターが付き添い、伴走します。必要に応じて文献や参考資料などを紹介し、意見交換を行います。研修担当者もリソースの一つです。どのように活かして課題解決につなげるか、人的リソースの有効的な活用を体験します。具体的には、講義と演習の合間にLMSとチャットツールを利用して次のことを行います。

- ① 各種課題の提出
- ② チームによる進捗状況報告
- ③ 課題解決方法の検討と決定
- ④ 改善案の検討
- ⑤ 成果発表会に関する協力・連絡
- ⑥ その他、個別のネットワーキング

(7) 提出物

全ての研修生は、研修期間を通じて以下の成果物を提出しなければなりません。

- ① 「講義の課題」（講義動画/ライブ講義に関する理解の確認と考察を報告：個人で提出）
- ② 「演習の課題」（個人やチームでの課題解決の進捗報告：個人で提出）
- ③ 「振り返りシート」（スクーリングの振り返り：個人で提出）
- ④ 「研修成果のまとめ」（チームでの課題解決の成果報告：チームで提出）

- ⑤ 「修了レポート」(研修終了時の各自の学びの総括：個人で提出)
- ⑥ 「自己評価票」(中堅の資質・能力や研修に関する評価：個人で提出)

#### 4. 実施内容

##### 4. 1. 研修の進め方

###### (1) 事前準備

事前準備としてガイダンス動画の事前視聴等に取り組みます。

###### (2) 講義・演習

各期は原則として【講義】と【演習】の組み合わせで構成します。総単位数は40単位で、【講義】20単位、【演習】20単位です(1単位45分)。「講義」と「演習」の内容と単位数は以下の通りです。

① 【講義】(4単位)：講義(講義動画/ライブ講義)の視聴(1単位)＋課題の遂行(1単位)＋スクーリング(2単位)

- ・ 講義では、動画教材による講義をスクーリング前に各自で視聴(講義動画)、あるいは、同期型研修でのライブ講義に参加します。
- ・ 講義視聴後、スクーリングの講師が指定する課題を遂行します。
- ・ 課題提出後、Zoomによるスクーリングで課題の振り返りや発展的学習を行います。

② 【演習】(4単位)：事前課題の遂行(1単位)＋スクーリング(2単位)＋事後課題の遂行(1単位)

- ・ スクーリングの前に担当講師が指定する事前課題を遂行します。
- ・ Zoomによるスクーリングで課題の共有や議論などを行い、自身の研修課題の解決を図ります。
- ・ スクーリングの議論を踏まえてチーム内での振り返りや事後課題を遂行します。

(ただし、1期は講義1(ライブ講義)の聴講1単位＋スクーリング3単位の計4単位、6期は成果発表会への参加によって4単位となります。)

＜中堅研修コース：各期の内容と単位数＞ \* [ ]内の数字は単位数

期	1期 [4]	2期 [8]	3期 [8]	4期 [8]	5期 [8]	6期 [4]
時期	7月	8月	9月	10月	11月	12～1月
内容	【講義】 講義1 [4]	講義2視聴[1] 課題の遂行[1] スクーリング[2]	講義3視聴[1] 課題の遂行[1] スクーリング[2]	講義4視聴[1] 課題の遂行[1] スクーリング[2]	講義5視聴[1] 課題の遂行[1] スクーリング[2]	

	<b>【演習】</b>		課題の遂行[1] スクーリング[2] 課題の遂行[1]	課題の遂行[1] スクーリング[2] 課題の遂行[1]	課題の遂行[1] スクーリング[2] 課題の遂行[1]	課題の遂行[1] スクーリング[2] 課題の遂行[1]	成果発表会 [4]
--	-------------	--	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	--------------

#### 4. 2. 2023 年度中堅研修コースのスケジュールと提出物の締切

基本的に以下の全てのスクーリングおよび成果発表会に参加することと、全ての提出物を期限内に提出することが求められます。

は、スクーリングの実施日時。
  は、個人/チームの課題の提出期限。日時はいずれも日本時間。

月	日	曜日	時間	研修	内容/提出物
7				事前準備	ガイダンス動画の視聴
7	29	土	13:00-16:30	スクーリング 1	オリエンテーション 講義 1 (ライブ講義) と 講義 1 に関する意見交換
8	6	日	23:59	課題の遂行	振り返りシート・自己評価票
8	13	日	23:59	講義の視聴	講義 2 の視聴, 講義・演習の課題
8	19	土	13:00-16:30	スクーリング 2	講義 2 に関する意見交換 各自の課題に関する意見交換
8	27	日	23:59	課題の遂行	振り返りシート
9	10	日	23:59	講義の視聴	講義 3 の視聴, 講義・演習の課題
9	16	土	13:00-16:30	スクーリング 3	講義 3 に関する意見交換 各自の課題に関する意見交換
9	24	日	23:59	課題の遂行	振り返りシート
10	15	日	23:59	講義の視聴	講義 4 の視聴, 講義・演習の課題
10	21	土	13:00-16:30	スクーリング 4	講義 4 に関する意見交換 各自の課題に関する意見交換
10	29	日	23:59	課題の遂行	振り返りシート・自己評価票
11	12	日	23:59	講義の視聴	講義 5 の視聴, 講義・演習の課題
11	18	土	13:00-16:30	スクーリング 5	講義 5 に関する意見交換 各自の課題に関する意見交換
11	26	日	23:59	課題の遂行	振り返りシート
12	10	日	23:59	課題の遂行	演習の課題 (チームの課題に関して, 成果発表会の資料と動画を作成する)
12	16	土	13:00-16:30	成果発表会	各チームの課題達成状況の報告
1	7	日	23:59	課題の遂行	研修成果まとめ (チームの取り組みをチームでまとめる)
1	14	日	23:59	課題の遂行	修了レポート (研修での学びを個人でまとめる) 自己評価票

#### 4. 3. 講義（講義動画/ライブ講義）の研修内容

	テーマ	担当講師	
事前	(1)コースガイダンス (2)研究倫理と著作権 (3)文献検索	中島祥子(鹿児島大学) 小林ミナ(早稲田大学) 北出慶子(立命館大学)	動画 3本
講義1	日本語教育の参照枠について	松井孝浩(文化庁)	ライブ 講義
講義2	日本語教師と「熟達」(1)~(3)	横溝紳一郎(西南学院大学)	動画 3本
講義3	「実践を記述する」ということ	石黒広昭(立教大学)	動画 3本
講義4	課題解決のアプローチ(1)~(3)	石黒広昭(立教大学)	動画 3本
講義5	「実践」を振り返る/ 異なる実践をつなげる・つながる	横溝紳一郎(西南学院大学)	動画 3本

#### 5. 中堅研修コース担当講師

犬飼英男(名古屋 YMCA 日本語学院), 小河原義朗(東北大学), 御館久里恵(鳥取大学), 加藤林太郎(神田外語大学), 金子史朗(友国際文化学院), 北出慶子(立命館大学), 黒崎誠(ラボ日本語教育研修所), 小林ミナ(早稲田大学), 嶋ちはる(国際教養大学), 嶋津百代(関西大学), ツォイ・エカテリーナ(一橋大学), 中島祥子(鹿児島大学), 永田良太(広島大学), 布尾勝一郎(立命館アジア太平洋大学), 平山允子(日本学生支援機構東京日本語教育センター), 星摩美(福井ランゲージアカデミー), 安原凜(環太平洋大学), 柳田直美(早稲田大学), 吉川達(立命館大学), 義永美央子(大阪大学)

## II. 受講者の募集について

### 1. 募集人数

70名程度

### 2. 応募資格と応募条件

#### (1) 応募資格

中堅日本語教師として十分な経験を有する者(目安として3年以上の日本語教育歴がある者)。

#### (2) 応募条件

次の6つを全て満たすこと。

- ① 同期型研修に出席できること。

6回のスクーリング（成果発表会を含む）のすべてに参加することを原則とします。

- ② オンラインによる同期型研修／非同期型研修を受講できる通信環境とスキルを有すること。インターネット環境，機器，ソフトなどについては，受講者ご自身で整えていただきます。
- ③ 全研修期間を通じて，Zoom およびチャットツールによる意見交換，情報収集，成果報告などに積極的に参加すること。なお，同期型研修では，本名・カメラオンでご参加いただきます。
- ④ 日本語でのグループ活動，ディスカッション等の参加に支障がない程度の日本語力を有すること。
- ⑤ 参加にあたり，研修実施の妨げとなるような行為や言動を慎むこと。
- ⑥ 知的財産権，人格権（個人情報への守秘や肖像権の配慮等），研究倫理等について理解し，行動すること。

なお，受講が決定しましたら，上記に関する同意書をご提出いただきます。

### 3. 修了判定

同期型研修の出席率，課題提出率（提出物は締切厳守），課題達成率の全てにおいて80%以上を満たした場合に修了となります。

修了判定の結果通知，および修了証の送付は3月下旬を予定しています。

### 4. 応募方法

#### (1) 参加申込

以下のURLにアクセスし，必要事項を記入してください。締切日までに複数回の応募申請があった場合は，最新の日付のものを有効とします。

以下の申込URLは，中堅研修コース/講師育成コース(p.10以降参照)に共通したものです。中堅研修コース/講師育成コースのどちらに応募するかをフォームの中で回答してください。

なお，中堅研修コース/講師育成コースの両方に同時に応募することは可能ですが，同時受講はできません。また，どちらのコースを受講していただくかはJCN研修運営委員会で審査の上通知します。審査の結果，どちらも受講不可となる場合もあります。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScC5K634fHkAaIBD-eticBih0Uo4PKOosrTya436NdrXO7DcQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScC5K634fHkAaIBD-eticBih0Uo4PKOosrTya436NdrXO7DcQ/viewform?usp=sf_link)

（上記のリンクをクリックしてもGoogle Formが開かない場合は，お使いのブラウザが最新版かどうかをご確認の上，リンクをコピーしてお試ください）

## (2) 事前課題

この研修で取り組みたい、ご自身の日々の教育活動・教育実践から生まれた課題について、以下の1)～4)の質問に答える形でPDFファイルを作成し、上記のURLからアップロードしてください（申込に関する情報入力完了後にアップロードが可能になります）。ファイル名は「JCN 中堅事前課題\_氏名」としてください（例：「JCN 中堅事前課題\_学会太郎」）。

研修参加が認められた場合、ここに書かれた課題に基づいてチーム編成を行います。また、ここに書かれた課題の検討・解決に取り組むことが求められます。

- 1) 取り組みたい課題は、あなたのこれまでの教育活動・教育実践とどのように関わっていますか。  
300～400字程度で説明してください。
- 2) その課題を解決するために、これまでどのようなことに取り組みましたか。200字程度で説明してください。
- 3) その課題を解決するために、何が必要だと考えますか。200字程度で説明してください。
- 4) その課題を解決するために、この研修に期待することは何ですか。200字程度で説明してください。

応募締切：2023年6月19日（月）23：59（JST）

## 5. 選考

提出された書類を審査し、**2023年6月27日（火）**までに電子メールにて受講の可否を通知します。選考料は無料です。

## 6. 受講料

受講料は、一人20,000円（LMS使用料・教材費等を含む）です。

受講が決定しましたらメールでご連絡しますので、指定日までに銀行振込にてお支払いください。あわせて、2.に記載した同意書をご提出いただきます。なお、遠隔による研修を受講する上で必要な環境の整備・通信費などは各自の負担となります。

## 7. 注意事項

本研修は、文化庁「現職日本語教師研修プログラム普及事業 日本語教師【中堅】」を日本語教育学会が受託事業として実施するものです。研修期間に作成した資料、成果物、LMSでのやりとりなどは、他の研修生、講師、日本語教育学会が行う研修評価、研究活動等において利用・分



析される場合があります。詳細は研修開始時に改めて説明します。なお、記録のため、同期型研修の様子を録画します。

## 8. 問い合わせ先

公益社団法人日本語教育学会 JCN 研修事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

Tel: 03-3262-4291 E-mail: [jcn\\_office@nkg.or.jp](mailto:jcn_office@nkg.or.jp)

令和5(2023)年度文化庁委託 現職日本語教師研修プログラム普及事業 日本語教師【中堅】

公益社団法人日本語教育学会  
日本語教育学会の人材、知財、ネットワークを活かした  
中堅日本語教師のための研修プログラム（略称：JCN 研修）  
中堅研修コース／講師育成コース  
募集要項

※中堅研修コース／講師育成コースの両方について、追加募集をいたします※

※ 締切は 6 月 19 日(月)23:59（日本時間）です ※

## 講師育成コース

### I. 研修について

#### 1. 本研修の趣旨・目的

公益社団法人日本語教育学会は、2023 年度文化庁事業「現職日本語教師研修プログラム普及事業」を受託し、中堅日本語教師のための研修（以下、中堅研修コース）、および研修担当講師の育成研修（以下、講師育成コース）を実施いたします。

「中堅研修コース」では、文化庁（2019）『[日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版](#)』で示された日本語教育人材の養成・研修における「日本語教師【中堅】に求められる資質・能力」および「研修における教育内容」を踏まえた内容を提供します。その目的は、これまでに自らが行ってきた日本語教育実践を振り返り、俯瞰し、それらを理論的・メタ的に位置づける活動を通じて、これからの日本語教育の如何なる多様化にも対応し、日本語学習環境を整えることができる日本語教師【中堅】を育成することです。

「講師育成コース」では、文化庁（2019）で示された日本語教育人材の養成・研修における「日本語教育コーディネーターに求められる資質・能力」および「研修における教育内容」を踏まえた内容を提供します。その目的は、中堅日本語教師の研修を企画し、講師として研修を運営・実施できる人材を育成することです。

これら 2 つのコースは、日本語教育学会の様々な人材（Jinzai）、知財（Chizai）、ネットワーク（Network）を活用してオンラインで実施します。ここでは、「講師育成コース」の募集要項を説明します。

#### 2. 研修実施期間

令和 5（2023）年 7 月 1 日（土）～令和 6（2024）年 2 月 15 日（木）

#### 3. 実施方法

本研修は、全てオンラインで実施します。「同期型研修（Web 会議システムによるスクリーン

グ)」と「非同期型研修（講義動画の視聴，および，LMS（Learning Management System），チャットツールの利用）」を組み合わせた複合型の学習形態です。Web 会議システムには Zoom を用います。LMS とチャットツールについては、事前準備期間に参加者に詳細をお知らせします。

受講者は、講義動画の視聴およびライブ講義・演習の受講を通して必要な知識を得ることに加え、上記 1 の「中堅研修コース」（「中堅研修コース」募集要項を必ず参照のこと）にメンターとして主体的に参加することで、現職教師に対するフィードバックの方法や、対話による省察の促し方を学びます（メンターとしての業務は謝金の対象となります）。また、「中堅研修コース」における講義と演習の往還に接することにより、理論と実践のインターフェイスについて学びます。これらを踏まえ、日本語教師【中堅】の資質能力とは何であり、どのようにして高めることができるのかを考えた上で、研修の最終課題として日本語教師【中堅】に対する研修企画案を作成します。

#### 4. 実施内容とスケジュール（31 単位：講義 5 単位+演習 26 単位，1 単位=45 分）

##### 4. 1. 実施内容

##### (1) 講義（5 単位）

「中堅研修コース」と同じ動画教材による講義を視聴し、文化庁（2019）の「日本語教師【中堅】に求められる資質・能力」，「日本語教師【中堅】研修における教育内容」の具体について理解を深めます。講義 1 は Zoom によるライブ講義，その他はオンデマンド講義となります。講義の詳細は以下の通りです。

	テーマ	担当講師	
事前	(1)コースガイダンス (2)研究倫理と著作権 (3)文献検索	義永美央子(大阪大学) 小林ミナ(早稲田大学) 北出慶子(立命館大学)	動画 3 本
講義 1	日本語教育の参照枠について	松井孝浩(文化庁)	ライブ 講義
講義 2	日本語教師と「熟達」(1)～(3)	横溝紳一郎(西南学院大学)	動画 3 本
講義 3	「実践を記述する」ということ	石黒広昭(立教大学)	動画 3 本
講義 4	課題解決のアプローチ(1)～(3)	石黒広昭(立教大学)	動画 3 本
講義 5	「実践」を振り返る/ 異なる実践をつなげる・つながる	横溝紳一郎(西南学院大学)	動画 3 本

(2) 演習【オリエンテーション・事前/振り返り/メンターセッション・研修企画案発表会】(26 単位)

同期型研修の演習として、以下を行います。

①【講師育成コース】オリエンテーション/研修企画案発表会(4 単位)

研修開始時に受講者全体でオリエンテーション(2 単位)、終了時に研修企画案発表会(2 単位)を実施します。

②【中堅研修コース】に係る事前セッション/振り返りセッション(4 単位)

「中堅研修コース」開始前にメンターとしてのコースへの関わり方等を確認する事前セッション(2 単位)、コース終了後には振り返りセッション(2 単位)を実施します。

事前セッションでは、栗田佳代子講師(東京大学)によるライブ講義を行います。

③メンターセッション(MS)(18 単位)

「中堅研修コース」スクーリングの前後に、メンターとして担当するチームの課題を担当講師と共有し、適切なファシリテーションのあり方を検討するとともに、講師育成コース受講生が立案した研修企画案に関する意見交換を行います。

(3) 提出物

受講者は、研修期間を通じて次の3種類の成果物を提出します。

- ①「振り返りシート」(メンターセッション終了後、個人で提出)
- ②「修了レポート」(研修終了時、個人で提出)
- ③「自己評価票」(研修期間中3回程度、個人で提出)

4. 2. スクーリング等の実施日程・提出物の締切

基本的に以下の全てに参加すること、全ての提出物を期限内に提出することが求められます。

は講師育成コースの同期型講義・演習です。
   は中堅研修コースのスクーリングです。
   は提出物と締め切り日を示します。

月	日	曜日	時間	研修	内容あるいは提出物
7	1	土	13:00-16:30	【講師育成コース】オリエンテーション メンターセッション①	研修の趣旨や進め方の説明 日本語教育人材の資質・能力とその育成
7	9	日	23:59まで	振り返り・講義動画視聴・メンタリング準備（非同期）	振り返りシート・自己評価票
7	22	土	13:00-16:30	【中堅研修コース】に係る事前セッション メンターセッション②	研修のデザインとメンタリング
7	30	日	23:59まで	振り返り・講義動画視聴・メンタリング準備（非同期）	振り返りシート
7	29	土	13:00-16:30	スクーリング1	中堅研修コースのスクーリングに参加し、ディスカッションのファシリテーションを行う
			16:45-17:30	メンターセッション③	チームの課題および研修案の検討
8	6	日	23:59まで	振り返り・講義動画視聴・メンタリング（非同期）	振り返りシート
8	19	土	13:00-16:30	スクーリング2	中堅研修コースのスクーリングに参加し、ディスカッションのファシリテーションを行う
			16:45-17:30	メンターセッション④	チームの課題および研修案の検討
8	27	日	23:59まで	振り返り・講義動画視聴・メンタリング（非同期）	振り返りシート
9	16	土	13:00-16:30	スクーリング3	中堅研修コースのスクーリングに参加し、ディスカッションのファシリテーションを行う
			16:45-17:30	メンターセッション⑤	各自のメンタリングの振り返り、研修案の検討
9	24	日	23:59まで	振り返り・講義動画視聴・メンタリング（非同期）	振り返りシート
10	21	土	13:00-16:30	スクーリング4	中堅研修コースのスクーリングに参加し、ディスカッションのファシリテーションを行う
			16:45-17:30	メンターセッション⑥	チームの課題および研修案の検討
10	29	日	23:59まで	振り返り・講義動画視聴・メンタリング（非同期）	振り返りシート・自己評価票
11	18	土	13:00-16:30	スクーリング5	中堅研修コースのスクーリングに参加し、ディスカッションのファシリテーションを行う
			16:45-17:30	メンターセッション⑦	チームの課題および研修案の検討
11	26	日	23:59まで	振り返り・メンタリング（非同期）	振り返りシート
12	16	土	13:00-16:30	【中堅研修コース】成果発表会	中堅研修コースの成果発表会に参加
1	6	土	13:00-16:30	【中堅研修コース】振り返りセッション メンターセッション⑧	各自のメンタリングの振り返り 各自の研修案の検討
			23:59まで	振り返り・研修案の検討（非同期）	振り返りシート
1	20	土	13:00-16:30	【講師育成コース】研修企画案発表会 メンターセッション⑨	各自の研修案の発表、質疑応答 研修全体の振り返り
1	28	日	23:59まで	振り返り・研修案の検討（非同期）	振り返りシート
2	11	日	23:59まで	研修企画案の完成	修了レポート（研修企画案）・自己評価票

## 5. 担当講師

犬飼英男（名古屋 YMCA 日本語学院），小河原義朗（東北大学），御館久里恵（鳥取大学），加藤林太郎（神田外語大学），金子史朗（友国際文化学院），北出慶子（立命館大学），黒崎誠（ラポ日本語教育研修所），小林ミナ（早稲田大学），嶋ちはる（国際教養大学），嶋津百代（関西大学），ツオイ・エカテリーナ（一橋大学），中島祥子（鹿児島大学），永田良太（広島大学），布尾勝一郎（立命館アジア太平洋大学），平山允子（日本学生支援機構東京日本語教育センター），星摩美（福井ランゲージアカデミー），安原凜（環太平洋大学），柳田直美（早稲田大学），吉川達（立命館大学），義永美央子（大阪大学）

## Ⅱ. 受講者の募集について

### 1. 募集人数

12名程度

### 2. 応募資格と応募条件

#### (1) 応募資格

・文化庁(2019)『[日本語教育人材の養成・研修の在り方について\(報告\)改定版](#)』, p.31「表8」に記載されている「日本語教師【中堅】」としての専門性と経験を有する者。

・現在、または将来的に中堅日本語教師研修の講師等を務める可能性があり、日本語教育に貢献する意欲がある者。

・過去に中堅日本語教師研修を修了した者であることが望ましい。

※応募資格に関してご不明な点がある場合には「8. 問い合わせ先」にお問い合わせください。

#### (2) 応募条件

次の6つを全て満たすこと。

##### ① 同期型研修に出席できること。

「中堅研修コース」スクーリングと「講師育成コース」のオリエンテーション・事前セッション・メンターセッション・振り返りセッション・研修企画案発表会の全てに参加すること(I.4.2に示した日程を確認すること)。

##### ② オンラインによる同期型研修／非同期型研修を受講できる通信環境とスキルを有すること。インターネット環境、機器、ソフトなどについては、受講者ご自身で整えていただきます。

##### ③ 全研修期間を通じて、Zoomおよびチャットツールによる意見交換、情報収集、成果報告などに積極的に参加すること。なお、同期型研修では、本名・カメラオンでご参加いただきます。

##### ④ 日本語でのグループ活動、ディスカッション等の参加に支障がない程度の日本語力を有すること。

##### ⑤ 参加にあたり、研修実施の妨げとなるような行為や言動を慎むこと。

##### ⑥ 知的財産権、人格権(個人情報の守秘や肖像権の配慮等)、研究倫理等について理解し、行動すること。

なお、受講が決定しましたら、上記に関する同意書をご提出いただきます。

### 3. 修了判定

同期型研修の出席率，課題提出率（提出物は締切厳守），課題達成率の全てにおいて 80% 以上を満たした場合に修了となります。修了判定の結果通知，および，修了証の送付は 3 月下旬を予定しています。

### 4. 応募方法

#### (1) 参加申込

以下の URL にアクセスし，必要事項を記入してください。締切日までに複数回の応募申請があった場合は，最新の日付のものを有効とします。

以下の申込 URL は，中堅研修コース/講師育成コースに共通したものです。中堅研修コース/講師育成コースのどちらに応募するかをフォームの中で回答してください。

なお，研修コース/講師育成コースの両方に同時に応募することは可能ですが，同時受講はできません。また，どちらのコースを受講していただくかは JCN 研修運営委員会で審査の上通知します。審査の結果，どちらも受講不可となる場合もあります。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScC5K634fHkAaIBD-eticBih0Uo4PKOosrTya436NdrXO7DcQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScC5K634fHkAaIBD-eticBih0Uo4PKOosrTya436NdrXO7DcQ/viewform?usp=sf_link)

（上記のリンクをクリックしても Google Form が開かない場合は，お使いのブラウザが最新版かどうかをご確認の上、リンクをコピーしてお試ください）

#### (2) 事前課題

以下に示す 4 点について，ご自身の現在の考えを 1,200 字程度でまとめて，ファイルを上記の URL からアップロードしてください（申込に関する情報入力完了後にアップロードが可能になります）。ファイルは PDF 形式で作成し，ファイル名を「JCN 育成事前課題\_氏名」としてください（例：「JCN 育成事前課題\_学会太郎」）。

#### **事前課題**

本研修は，中堅日本語教師の研修を企画し，講師として研修を運営・実施できる人材の育成を目的としています。そして，並行して行われる【中堅研修コース】にメンターとして主体的に参加することにより，研修の企画・運営に求められる知識とスキルを実地で身につけます。本研修参加にあたっての事前課題として，以下の 4 点について，現在のご自身の考えを記してください。

① 日本語教師【中堅】に対して，どのような研修を企画したいと考えていますか。

② ①の企画を考えるに至ったご自身の経験および日本語教育の現状について説明してください。

③ ①の企画を実際に運営・実施するにあたって、今のご自身には何が足りないと考えていますか。

④ ご自身がメンターとして【中堅研修コース】に具体的にどのように関わろうと考えていますか、それによって上記の③はどのように学べると考えていますか。

上記4点についての現在のご自身の考えを記してください。合わせて1,200字程度（A4判1枚）でまとめてください。

応募締切：2023年6月19日（月）23：59（JST）

## 5. 選考

提出された書類を審査し、2023年6月27日（火）までに電子メールにて受講の可否を通知します。選考料は無料です。

## 6. 受講料

受講料は、一人20,000円（LMS使用料・教材費等を含む）。

受講が決定しましたらメールでご連絡しますので、指定日までに銀行振込にてお支払いください。あわせて、2に記載した同意書をご提出いただきます。なお、遠隔による研修を受講する上で必要な環境の整備・通信費などは各自の負担となります。

## 7. 注意事項

本研修は、文化庁「現職日本語教師研修プログラム普及事業 日本語教師【中堅】」を日本語教育学会が受託事業として実施するものです。研修期間に作成した資料、成果物、LMSでのやりとりなどは、他の研修生、講師、日本語教育学会が行う研修評価、研究活動等において利用・分析される場合があります。詳細は研修開始時に改めて説明します。なお、記録のため、同期型研修の様子を録画します。

## 8. 問い合わせ先

公益社団法人日本語教育学会 JCN 研修事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

Tel: 03-3262-4291 E-mail: jcn\_office@nkg.or.jp